

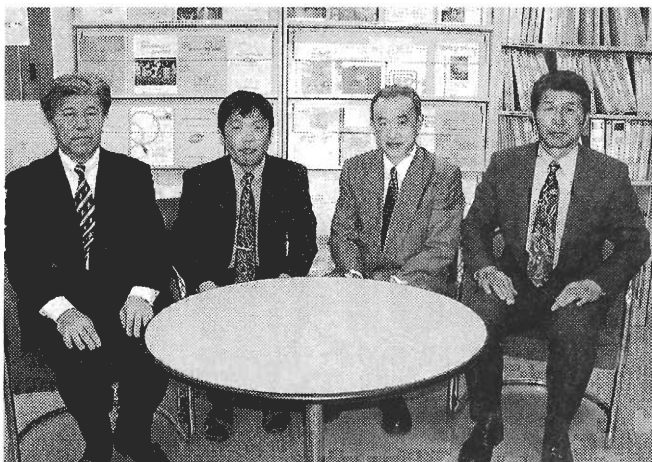
さわやか NPO

道路や建物、施設など電子地図にさまざまな情報を重ね合わせて表示する地理情報システム(GIS)を広く利用してもらおうと、学生に対する教育・啓発活動などに取り組んでいる。今後はNPO(民間非営利団体)の活動支援にも力を入れるため、インフラ整備に力を入れ、GISの普及を目指す必要がある。

GISは従来の紙地図や図面、台帳の機能を併せ持ち、これらの情報を高速で処理・加工すること

GIS総合研究所

理事長 川添博史
住 所 大阪市福島区吉野4-29-20
大阪NPOプラザ117号
電 話 06(6464)7077
ファクス 06(6464)7078
Eメール info@gissoken.org
URL http://gissoken.org/



GIS総合研究所の皆さん

活動支援、普及目指す

防犯、防災地図 次世代に継承

Sを使用できるよう技術的な支援を行い、世の中に広めていきたい」と、GIS総合研究所を立ち上げ、二〇〇二年十一月

に大阪府、〇三年十二月に内閣府の認証をそれぞれ受けた。

一方、NPOの活動支援では、神戸市のNPOが福祉施設の情報を盛り込んだ地図を作成するのを支援していく。今後府内のNPOに声を掛け、それぞれが必要とする地図づくりを支援する考えだ。

川添さんは「自分で調べたことを電子地図に書き込むと、他の生徒にも見てもらえるので、やりがいがあるようです。GISで多角的にデータ分析できることも感激してもらえらる」と手応えを感じている。今年からは、対象を中学生にまで広げていく。

また年間二、三回のペースで、府内の大学でGISを中心とした「地理情報」の現状を紹介する講演活動も行っている。

(千星和宏記者)

地域ワイド